

戸塚・大久保地区中学校 適正配置協議会だより

平成 16 年 7 月 12 日

No. 12

去る 6 月 21 日(月)午後 2 時から新宿コズミックセンターで第 9 回の協議会(合同部会)が開催されました。冒頭、教育長から、学校適正配置へのご理解と委員のご尽力に感謝の言葉が述べられ、PTA 会長の交代に伴って新たに加わった委員に委嘱状が交付されました。

その後、教育委員会事務局から、事務局試案「統合中学校建設の基本的な考え方」の説明があり、これを基に統合新校のビジョン、コンセプトについて検討しました。

次回は、各部会の中でより具体的に検討することと、統合新校標準服のプレゼンを実施することを確認しました。

統合中学校建設の基本的な考え方(抜粋)

- 多様化する学習形態(少人数学習指導、習熟度別学習、TT など)に柔軟に対応できる多目的教室や、給食時間中の生徒同士や教師との交流をはじめ、多様な用途への活用を図る多目的ホールの確保に努める。
- 現存する樹木の保存あるいは移植に努めるとともに、屋上緑化や雨水を利用した校庭の散水など自然資源の活用にも努める。
- エレベーターやその他の要所に手摺りを設置するなどバリアフリーに配慮するとともに、校舎に冷暖房設備を導入し学校生活の快適性の向上に努める。
- 安全・衛生面に配慮し給食調理室にドライ方式を導入する。
- 生徒・来校者の利便性を確保しつつ、侵入事件、事故等を防止する有効な防犯・防災対策を検討する。
- 学校施設開放を進めるため、動線に配慮した校舎の配置や、学校内に地域の方々が優先使用できるクラブハウスを配置するなど、これまで以上に地域に開かれた学校の整備に努める。

主 な 発 言 内 容

学校選択制を考慮した適正規模の学級数を精査する必要がある。

雨水利用、屋上緑化の導入にあたっては、維持管理面からも検討する必要がある。

学校開放は、学校の負担にならないよう管理運営等を考えてほしい。

生徒の利用と生涯学習利用の両立を視野に入れた設計と人員配置を希望する。

プールを屋上か地下へ設置できないか。

温水化も検討してほしい。